

IH-7000 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。本キットは以下の車種に対応します。
・伊豆箱根鉄道7000系
本キットは、トレーラー車専用です。
動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

！ 注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】
・ライトユニット : 1個/セット

【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱





※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直している導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかりと貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

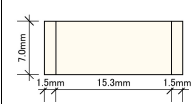


- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスチックヤスリ
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ポンチ(ブッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒及び銀)

● 取り付け手順

1. 分解する			2. 車体を加工する		
1-1 床板を外す	1-2 側窓を外す	1-3 前面透明パーツを外す		2-1 前面透明パーツの加工	
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	側窓を、前面窓との噛み合部をコジって外します。妻窓が外れますので、紛失しないよう注意します。	前面窓の上部を内側から綿棒で押します。次いで、前面透明パーツ下端のボディとの隙間に精密ドライバーなどを差し込みます。これらを繰り返して、前面透明パーツを浮かせ、前面窓部から外側に外します。		前面透明パーツを、前面窓下のリブの直下で切断します。双方の切断面を整えます。	
2-2 ライトレンズを加工する			2-3 ライトレンズを遮光する	2-4 側窓を加工する	
ライトレンズ部の裏側・両端2箇所の突起を、削り取ります。透明度を保つため、ヤスリではなく、カッターナイフを使用します。			ライトレンズの表面と側面を、ライト部分を残して銀の塗料(エナメルを推奨)を塗り、遮光します。光にかざして、きちんと遮光できていることを確認します。	側窓前端下部を、前端リブの直下、前端リブの後端で四角に切り取ります。	
			2-5 スカートを加工する	3-1 床板を加工する	
			スカートの脚の一番上のツメを切り取ります。床板へ固定できなくなるので、取り付けはゴム系接着剤で接着します。	ライトユニットと干渉するので、床板端部の両側の突起を削り取ります。	
3. 床板を加工する					
4. ライトユニットを取り付ける					
3-2 シートを加工する		4-1 前面窓をはめる			
シート前端を約1.5mmカットします。		前面窓を外側からはめます。緩い場合は、両面テープで固定します。			
		4-2 ライトユニットを組み立てる			
		黒いプラスチックの内側の辺で、僅かに山折りの折れ目をつけます。(折れ目には、既に切れ込みが入っています。)			
		ライトレンズにライトユニットをはめ、両面テープで固定します。			
		ライトユニット上面を遮光するため、2mm×4mmのポリエステルテープを2枚用意し、ライトレンズとライトユニットにまたがるように貼ります。			
5. 配線する					
4-3 ライトユニットを取り付ける		5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る		5-2 側窓下にアルミテープを貼る	
ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。		5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリブに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所の凸部に貼ります。		3mm×106mmのアルミテープを2本用意します。側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。両側の側窓に貼ります。	

5-3 側窓をはめる	5-4 ライトユニットへ配線する		
			
妻窓をはめ、次いで側窓をはめます。側窓の前側は固定できなくなっているため、両面テープで固定します。	1.5mm × 17mmのアルミテープで、側窓下のアルミテープからライトユニットの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3mm × 4mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	側窓下の通電の確実を期して、3mm × 8mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
<p>乗務員室仕切り 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	 <p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。</p>	 <p>乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。</p>

